

## 包 括 的 公 表

平成 28 年 7 月～9 月に報告された医療事故のうち、包括的公表となる事例は下記のとおりです。

発生場所	概 略	再発防止策
病棟	外泊した患者のベッドサイドへ配膳された食事が下膳されず残っていた。翌日帰院した患者が、その日に配膳されたものと思い、摂取した。	外泊中はカーテンを開け、患者が不在のベッドも巡視ができるようにする。
手術室	手術部位に挿入した器械の先端の紐を、下肢を覆っていた布へ手術用器具で固定する際、大腿の皮膚を一緒に挟み皮膚に痕が残る。経過観察にて軽快。	手術部位を覆う布、紐等を固定する場合は、テープ類で固定する。
外来	CT 検査の 9 ヶ月先に外来診察予約が入り、肺転移疑の説明が遅れた。患者から CT 結果の問い合わせがあり、診察日を設定したため、対応できた。	放射線レポートの通知を一つ一つ確実に確認する。
病棟	患者 B の経管栄養剤と食後薬を患者 A へ投与。途中で気が付き胃内容物を吸引、回収した。	氏名を名乗れない患者の患者確認は必ずベッドネームとリストバンドで確認する。
病棟	薬剤アレルギー検査のために、検体と一緒に検査部へ提出する薬 5 種類を患者へ投与。薬疹などアレルギー症状はなかった。	患者へ投与しない検査用の薬の場合、薬袋への記載方法を「内服禁止（検査室へ提出）」などわかりやすい表記に変更する。
病棟	他院から転院時、内服ができない状態のため持参薬を中止。以前から内服していた抗てんかん薬も中止した。入院 3 週間後、痙攣発作を発症した。	医師、看護師、病棟薬剤師など多職種が前医からの既往歴、内服薬を把握して対応する。

発生場所	概 略	再発防止策
外来	注腸造影時、肛門より挿入するカテーテルを誤って陰に挿入し造影。造影時に発覚したため、バリウムが体外へ流出した後、注腸造影を行った。	<ul style="list-style-type: none"> <li>挿入部位を確実に視認できる状況で挿入する。</li> <li>注腸前に誤挿入のリスクを説明し、違和感があった時には知らせるよう患者へ伝えておく。</li> </ul>
病棟	アレルギー歴のある抗生物質を投与し、両肘、両膝に紅斑が出現した。抗アレルギー薬を投与して改善した。 入院時の記録にはアレルギー歴が記録されていたが、病院共通の患者情報欄にアレルギー歴の記載がなかった。	アレルギー歴など安全情報は病院共通の記載シートに記載し、カルテの安全情報欄に情報が反映されるようにする。
病棟	血液凝固阻止剤を 24 時間で 3.4ml (0.68 バイアル) 投与すべきところを、24 時間で 3.4 バイアルの指示をし、21 日間投与した。	薬剤の指示を出すときの単位を統一し、バイアル量では指示ができないようにする。
病棟	せん妄のため抗精神薬を処方する際、0.3mg/回 (成分量) と処方するところを 0.3g/回 (製品量) と処方し、過鎮静となった。	mg は成分量、g は製品量であることをオーダ画面上に表示するようにした。
病棟	輸液基材を 10ml/時間で注入するところを 20ml/時間で注入した。16 時間後、主治医が発見した。過剰輸液による身体への影響はなかった。	点滴開始時、ポンプの流量設定時、ワークシート、スマートデバイスなど確認するものを一緒に用意し指示内容を指さし確認する。
病棟	指示の点滴を準備する際、薬剤が病棟になかったため、他患者に準備されていた薬剤を未使用、未開封 (混注なし) と思い込み、使用した。使用した薬剤はインスリン入りであると 2 時間後発覚し、薬剤を変更した。	患者用に用意した薬剤は使用しない。病棟にない場合でも、薬局から取り寄せてから点滴を開始する。

発生場所	概 略	再発防止策
外来	右の尿管へステント留置を施行するが、直後のレントゲン撮影により左尿管ステント留置となっていることを発見した。すぐに尿管ステントの入れ替えを行い、目的の尿管へステントを留置した。	処置前にブリーフィングを行い、処置に関わるスタッフ全員が目的を声に出して確認し、画像、カルテ内容を把握しておく。
病棟	緊急手術後、ワーファリン内服中止の指示があったが、2日間内服をさせた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指示出し時、指示受け時のコミュニケーションをとる。</li> <li>・抗凝固剤など内服中の患者を識別できる表示の工夫。</li> </ul>
外来	検査をする際、鎮痛剤を生理食塩液 19ml に溶解しようとして、鎮静剤混和後の生理食塩液 19ml に溶解した。鎮静剤投与時に鎮痛剤を同時に投与となり、過鎮静になる。拮抗薬を使用した。	鎮痛剤、鎮静剤を溶解した注射器には薬液のアンフルに添付されているシールを貼付するルールを徹底する。